

令和4年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、来たる大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、日常的に大規模災害や、管路事故等を想定した各種講習会や訓練を重ねることで、災害時等に迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回の活動報告では令和5年1月、2月に行った訓練の内容について報告します。

大規模漏水を想定した「管洗浄」方法を検討しました

令和5年1月5日(木)と2月2日(木)に、大規模漏水が発生したケースを想定し、「管洗浄」の方法について机上訓練を行いました。

水道管が損傷し大規模な漏水が発生した場合、水道管内部の水の流れ(流速や流向)が著しく変化し、水道水に濁りが生じることがあります。水道管内の洗浄作業が適切に行われないと濁りが広範囲となり、深刻な水質事故に繋がってしまうため、管内に生じた濁り水を迅速かつ適切に排水する「管洗浄」が重要になります。



HIVP管の接合訓練を実施しました

令和5年1月12日(木)と1月19日(木)、令和5年2月9日(木)と2月16日(木)に応急給水や給水の復旧で使用が想定されるHIVP管※の接合訓練を実施しました。

(※)耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管

具体的には、これまで行ったHIVP管の接合訓練からステップアップし、適切な接着剤の塗布量を身に付けることに重点を置き、訓練を行いました。

接着剤の塗布及び接合は管の口径が大きい程難しくなりますが、緊急時においても、市民の皆様へ安心、安全な水をお届けするために必要な要素となります。



接着剤塗布



接合①



接合②



給水栓取り付け

次回は令和5年3月の活動内容を掲載する予定です。